

～愛媛の施設園芸に貢献したい！～ 武本 侑也さん(伊予市)

1987年生まれ
伊予市青年農業者協議会
伊予市食育協議会



☆経営概況☆

施設園芸のミニトマト 10a を中心として、レモン 6a、葉菜類 37a を栽培しています。ミニトマトの栽培管理は基本的に自分が行い、選果などの一部作業を、両親や新規就農者仲間に手伝ってもらっています。

☆ここがポイント☆

■就農の経緯

愛媛大学農学部卒業後、県内の農業法人に就職。植物工場の管理や栽培試験等を担当しました。その中で**独立自営の意思が芽生えて一念発起**。JAえひめ中央新規就農研修センターで1年間研修後、2017年に就農しました。

■自分を信じた先行投資

ハウス等の施設建設にはそれなりの費用がかかるため、新規就農者が施設栽培を選ぶケースは少ないです。しかし、**農業法人や研修センターで培った栽培知識・経験を生かせば、ゼロからでも施設園芸経営は可能**と考え、10aの施設を導入してミニトマト栽培を始めました。

■目標は高く！地域でもトップを誇る生産量！

経営の中でも、**ミニトマト栽培に99%の力**を入れています。8月下旬に定植し、翌年の7月まで収穫する作型です。**目標は就農5年目までに生産量20t/10a、販売金額1,000万円**です！3作目には「エコえひめ」認証を取得し、より適正化した管理体制の中で安定した収量を確保するため、日々努力しています。

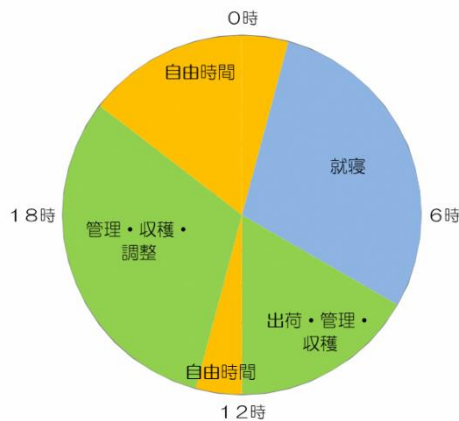


ミニトマトの栽培管理



ミニトマトの選果作業

【一日のライフスタイル（一例）】



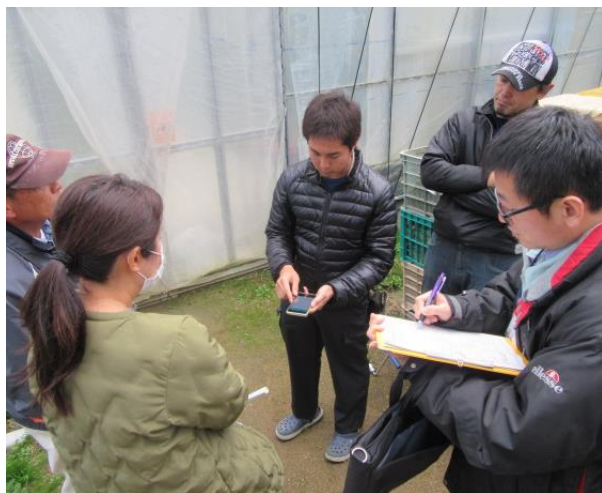
【普段の生活について】

ミニトマト収穫期間中(10月上旬～翌7月上旬)はミニトマトとハウスの管理作業に追われているのでほぼ休日はありませんが、作業が追い付いていたり、収穫量が少ない日は**臨機応変に自由時間を取っています**。

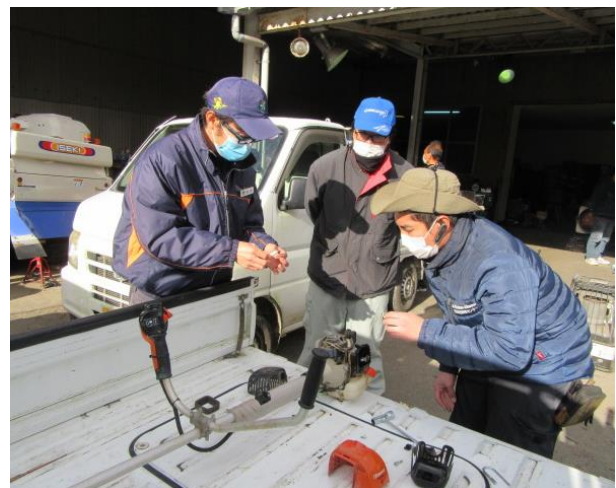
栽培の養液化や作業台車の導入、環境制御装置の自動化等を進めていき、**ワークライフバランスの是正**にも取り組んでいく予定です。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】10月上旬～翌7月上旬			(青年農業者や部会活動への参加含む)			
← 栽培管理・収穫・出荷 →						
【普通期】7月中旬～9月下旬						(休日は不定期)
← 次作準備・ハウス修繕・圃場管理・栽培管理 等 →						← 休日 →



ミニトマト栽培農家との情報交換会



青年農業者仲間と農業機械研修

☆これからの夢や目指すもの☆

養液栽培システムと作業台車を導入して、栽培面と作業面のどちらでも、**安定性と持続性を高めていきたい**です。また、自分がミニトマト栽培の優良事例となって、**新規就農が増えるように働きかけたい**と考えています。愛媛県の施設園芸がより盛んになり、先進地に追いつくための一助になれば幸いです。

☆メッセージ☆

農業経営には、一定の「収量」が不可欠で、その収量の確保には「栽培技術」が必要となってきます。**「モノづくり」のビジョンをできるだけ具体的に描く**ことが技術習得のための近道だと思います。